

はるひこ
大野治彦

令和5年1月発行

vol.20

区政報告

自由民主党 板橋区議会議員 大野治彦

〒173-0037 東京都板橋区小茂根4-4-10

TEL/FAX : 5995-9073

区政に関するご要望・ご相談は

お気軽にご連絡ください。

大野治彦ホームページ

<http://ohno-haruhiko.tokyo/>



令和4年第3回定例会決算審査特別委員会にて、令和3年度決算に関する総括質問に立たせていただきました。

皆様の区政に対するご意見ご要望を区政に反映し、初心を忘れることなく、区政の更なる伸長発展に向けて日々精進してまいります。



★決算調査特別委員会質問項目

◇令和3年度決算について

- 一般会計の令和3年度決算について、監査委員の意見書に対する板橋区の見解
- 令和4年度に実施された行政評価を、今後の区政運営にどのように反映させるのか
- 令和3年度の新公会計制度に基づく財務諸表の活用方策、区民向けの財務諸表概要版の区民の皆様の反応
- 10回に亘る補正予算が組まれた区民の皆様にご与えた効果
- 令和5年度予算編成に向けて、東京都との協議の状況と課題
- ペーパーレスへの取組状況
- 少子化が進む中での起債の額、公債費の負担についての見解
 - ・起債とは、地方自治体が金融機関から借入れを行なう行為です。
 - ・公債費とは、区が返済する元利償還金（元金と利子）と一時的な借入れをした場合の支払利息のことです。
- 職員提案の政策の対応状況



◇防災・減災対策について

★防災の観点から

- 『板橋区かわまちづくり計画』令和3年8月、国の制度に登録されました。
- 荒川河川敷のにぎわい創出と水害対策の推進に向け「板橋区かわまちづくり計画」が示された。本プロジェクトの取組み状況と課題
 - 危機管理部・区民文化部・資源環境部・都市整備部・土木部の、部を横断しての取組みが行なわれている。連携体制状況
 - 国土交通省との連携・折衝状況 ○若手職員による会議の開催状況
 - 複合災害によるリスク軽減策の対応状況 ○住民防災組織と板橋区の連携強化
 - YouTubeで動画配信されている防災動画の配信状況・反響・今後の予定、ハイブリット型防災関連イベント「板橋防災プラスフェア」の取組み状況



★減災の観点から

○「板橋区耐震改修計画2025」取組状況と課題

○「木密地域不燃化10年プロジェクト」

現在大谷口一丁目地域周辺地区で行なわれている事業です。木造密集地域を燃え広がらない燃えないまちにするため、この間重点的集中的な取組みが行なわれてきました。既に10年が経過しています。期間が延長され令和7年度で事業が終了予定となります。現在の状況と国や東京都からの補助金の対応状況

○ライフラインの強靱化

震災や風水害が発生しても、上下水道管・ガス管の耐震化が図られていれば、建物が倒壊しない限り自宅での生活が可能となります。また万が一火災が発生しても水利の確保が可能となります。電柱の耐震化策についても東京電力などが検討する必要があるのではないかと思います。

電柱の耐震化が無理であるならば早期復旧の対策が急務です。デジタル化が発達している現在、電源の確保が避難生活に効果を発揮するものと思う観点から

板橋区内の上下水道管とガス管の耐震化の現状、通信手段の対策

★危機管理の観点から

○町会・自治会が設置する防犯カメラについて東京都に全額負担を求めている。現在の状況

◇上板橋第二中学校新校舎移転について

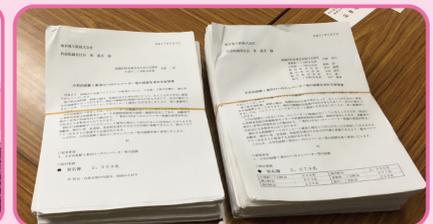
○上板橋第一中学校が仮校舎として使用するまでの期間、旧小茂根校舎が閉鎖状態になる。改修費削減と震災時は避難所となることからこの間の校舎の環境保持と校舎廻りの樹木の管理に努めるべき

○新校舎での学校運営が開始され6か月が過ぎようとしている。教科センター方式での授業が新たに行なわれている。今後の上板橋第二中学校をはじめ教育委員会が目指す、板橋区の教育体制・教育方針



◇東京メトロ小竹向原駅1番出口のエレベーター・エスカレーターの設置について

○15年間取り組んでいるが実現に至っていない課題の一つ。平成27年には町会連合会桜川・大谷口支部の署名8,038件と要望書を東京地下鉄株式会社本社に伺い提出済み。板橋区からも要望書が届けられている。早期実現に向けさらなる対応を求める。



◇都立城北中央公園の再整備について

令和4年10月7日に開催された「都知事と区長との意見交換会」に於いて、改めて本要望を取り上げていただきました。今回は、小池東京都知事から「陸上競技場の第三種公認化は、拡張に伴う施設の再整備などの課題があるが、板橋区と意見交換を進めていく。」「再整備計画のエリア設定を踏まえて、板橋区と連携しながらスポーツ・レクリエーションを一層楽しめるような場になるよう取り組む。」「板橋区との取り組みとも連携しながら、誰もがスポーツを楽しんで、オリンピック・パラリンピックのレガシーを活かして、健康増進、人とのつながりなど、スポーツの力をみんなで享受できるようなスポーツフィールド東京の実現につなげていくように、一緒に連携する。」といった趣旨の発言がありました。YouTube 動画配信『都知事と区長との意見交換会』から



○小池東京都知事の発言を踏まえ、スポーツ振興及びレクリエーションの場の充実に向けて都立城北中央公園及び石神井川調節池の上部利用の整備について、関係区や東京都とどのように協議・連携を進めていくのか、また庁内連携について、板橋区の政策としての位置づけ、坂本区長の取り組みに対する考えについて伺いました。

◆経歴

昭和39年3月10日生まれ
 昭和45年 茂呂塾保育園卒園
 昭和51年 板橋区立上板橋第二小学校卒業
 昭和54年 板橋区立上板橋第二中学校卒業
 昭和57年 東京都立豊島高等学校卒業
 昭和62年 日本体育大学体育学部体育学科卒業
 昭和62年～平成7年 民間企業勤務
 平成19年～現在 板橋区議会議員

◆役職

大野商事有限会社 代表取締役
 板橋消防団 団長
 東京都特別区消防団長会 副会長
 一般社団法人 東京都消防協会 監事
 上板橋第二中学校 同窓会会長 等
◆区議会役職歴
 平成23年度 東上線立体化調査特別委員会 委員長

平成24年度	文教児童委員会	委員長
平成26年度	予算審査特別委員会	委員長
平成26年度	企画総務委員会	委員長
平成27年度	議会運営委員会	委員長
〃	自由民主党板橋区議会議員団	幹事長
平成29・30年度	板橋区議会	第50代議長
令和2年度	災害対策調査特別委員会	委員長
令和3年度	板橋区監査委員	